

人気の量子ゲームを手がけた大阪大学 QIQB から根来誠副センター長／教授が登壇し、量子コンピュータについてお話しします。また、来場者のスマートフォンから大阪大学の量子コンピュータにアクセスし、量子もつれ(エンタングル)を実際に体験していただきます。さらに、本展参加アーティスト久保田晃弘教授(多摩美術大学)らと QIQB とのコラボレーションによる「量子コンピュータアート」の作品について、対談形式でご紹介します。

「純国産」量子コンピュータの実部品や大阪大学レゴ部が作成したブロックによる再現模型などの展示も行っており、こちらは、本イベントに限らず、会期中ご覧いただけます。

2025 年大阪・関西万博でも好評を博した作品や技術を通して、アート鑑賞／ハードウェア観察／ゲーム体験という多角的な視点から、量子コンピュータの世界を体感してみましょう。

❖ 「ミッション∞インフィニティ | 宇宙+量子+芸術」展 概要

【会期】 2026 年 1 月 31 日(土)～ 5 月 6 日(水・祝)

※休館日:月曜日(2 月 23 日、5 月 4 日は開館)、
2 月 24 日(火)

【開館時間】 10:00-18:00

(展示室入場は閉館の 30 分前まで)

【観覧料】 一般 1,800 円／大学生・専門学校生・65 歳
以上 1,260 円／中高生 720 円／小学生以
下無料

【会場】 東京都現代美術館 企画展示室 B2F、ホワイエ他
〒135-0022 東京都江東区三好 4-1-1
(木場公園内)

【主催】 東京都現代美術館(公益財団法人東京都歴史文化財団)

【共催】 CG-ARTS(公益財団法人 画像情報教育振興協会)

【助成】 オーストリア文化フォーラム東京

【協力】 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)他

【参加作家・機関(順不同)】

大阪大学 量子情報・量子生命研究センター(QIQB)、久保田晃弘+QIQB、平川紀道、ARTSAT プロジェクト(久保田晃弘 | 平川紀道 | 稲福孝信)、逢坂卓郎、落合陽一、江渡浩一郎+アラレグミ、安藤英由樹+田中成典、古澤 龍、森脇裕之、片岡純也+岩竹理恵、藤本由紀夫+永原康史、田中ゆり+有賀昭貴+パヴレ・ディヌロヴィッチ、吉本英樹、JAXA 宇宙科学研究所(ISAS)/ 天文仮想研究所(VSP) / 東京藝術大学、アンリアレイジ、Useless Prototyping Studio、種子島宇宙芸術祭実行委員会、量子芸術祭実行委員会 他

【URL】 <https://www.mot-art-museum.jp/exhibitions/mission-infinity/>



大阪大学 QIQB《超伝導式量子コンピュータ展示》会場
風景、東京都現代美術館

❖ 特記事項

本展示は、科学技術振興機構(JST)ムーンショット型研究開発事業 ムーンショット目標 6、同 共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)、文部科学省 光・量子飛躍フラッグシッププログラム(Q-LEAP)、内閣府総合科学技術・イノベーション会議の戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)の支援を受けて作成

されました。